

D-3 平成 25 年 6 月 南多摩高次脳機能障害支援センター発足

永生会高次脳機能障害支援事業推進室

渡邊 要一 江村俊平 山本徹

【はじめに】

平成 25 年 6 月、永生会は東京都高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実」事業を委託事業として受諾し、南多摩高次脳機能障害支援センターをスタートさせた。本事業の目的は「高次脳機能障害者のリハビリテーションの質の向上と関係機関等の連携を進め、地域で高次脳機能障害の特性に対応した切れ目のないリハビリを提供出来る体制の充実を図る」ことであり、その内容は①相談窓口の設置、②症例検討会、圏域連絡会の開催、③専門職への研修である。

【平成 25 年度の実績】

平成 25 年度、支援センターとしての本格稼働は 8 月からとなった。事業開始にあたり法人内での企画運営会議の他、事業を広い南多摩圏域に活動を広げるため、地域リハ支援事業への協力を頂いている多摩丘陵病院（町田市）、天翁会（多摩市）、北原国際病院（八王子市）に協力をお願いし、研修会を中心に企画立案を行った。

本年度の実績は以下の通りである。

項目	日時	内容	参加者(数)
連絡会	7月18日(木)	圏域情報交換会	20
	7月31日(水)	圏域内連絡会	22
	12月3日(火)	町田市高次脳機能障がい関係機関等連絡会	20
	月1回(8月～)	協力施設連絡会	10
症例検討会	8月4日(日)	第4回東京高次脳機能障害実践ネットワーク症例検討会	110
	1月29日(日)	「高次脳機能障害のある方の就労支援を考える」症例検討会	31
研修会 (高次脳ゼミ)	10月14日(月)	「コウジノウキノウショウガイ」とは	107
	11月24日(日)	高次脳機能障害がある人のリハビリと就労支援	117
	12月8日(日)	高次脳機能障害がある人と暮らす	69
その他	9月～	ホームページ開設	—
	12月～	パンフレット作成・配布	—

なお相談業務については事務局の電話対応の他、各研修会で相談コーナーを設置し対応した。平成 25 年度の相談件数は 11 件となっている。

【今後の展望】

協力施設連絡会を中心に今年度実施した研修会、症例検討会の更なる充実を図る。また多摩丘陵病院との協力のもと行政機関との連携として町田市の促進事業を支援し、その結果をもとに他市への足がかりとする。その他、本事業の目標達成のため、ホームページの充実、相談対応の拡充、家族会との連携、ガイドブックの作成、高次脳機能障害者の実態調査など多くの課題があがっている。